八戸市美術館開館 5 周年・
青森朝日放送開局 35 周年記念事業
「ヨシタケシンスケ展かもしれない」開催・内覧会のご案内



会期 2026年11月21日(土)→2027年1月11日(月祝)　八戸市美術館 Hachinohe Art Museum

八戸市美術館は 2026 年 11 月 21 日(土)-2027 年 1 月 11 日(月・祝)の会期で「ヨシタケシンスケ展かもしれない」を開催します。本展は子どもから大人まで大ブームを巻き起こしている絵本作家、ヨシタケシンスケ初の大規模展覧会で、2022 年 4 月より全国を巡回中です。開催に先立ち、以下の日程で内覧会を実施いたします。

内覧会

日時	2026年11月20日(金)14:00-16:00	
会場	八戸市美術館	
スケジュール	13:30-14:00	受付
	14:00-14:15	実行委員長・作家挨拶、テープカット
	14:15-	自由観覧
	14:45-15:00	作家によるギャラリーツアー
	15:00-15:30	作家メディア対応(要申し込み。詳細は2ページ参照)

お問い合わせ先

八戸市美術館　031-0031 青森県八戸市大字番町 10-4　TEL｜0178-45-8338(代表番号)　FAX｜0178-24-4531
E-mail｜art@city.hachinohe.aomori.jp　八戸市美術館公式 HP｜https://hachinohe-art-museum.jp
広報担当者｜類家　展覧会担当者｜三浦・齊藤

内覧会　作家メディア対応について

作家への個別取材は事前申し込みとさせていただきます。以下の要項をご確認のうえお申し込みください。

内容	作家メディア対応 ヨシタケシンスケ氏が個別に取材に対応します。（囲み取材は行いません）
日時	2026年11月20日（金）　15:00–15:30
場所	八戸市美術館（会議室）
申し込み〆切	11月6日（金）
申し込み方法	メールにて、以下の内容をお知らせください。 • 件名「ヨシタケシンスケ展　取材申し込み」 • メディア名 • ご担当者名 • ご連絡先電話番号 申込先メールアドレス　art@city.hachinohe.aomori.jp
注意事項	• 取材時間を調整し、11月13日（金）までにお知らせします。 • 申し込み状況に応じて各社5分〜10分程度で時間を割り振ります。

ヨシタケシンスケ展かもしれない
概要

企画名称	八戸市美術館開館5周年・青森朝日放送開局35周年記念事業 ヨシタケシンスケ展かもしれない
展覧会会期	2026年11月21日（土）〜2027年1月11日（月・祝）
会場	八戸市美術館　（ホワイトキューブ、ブラックキューブ）
開館時間	10：00〜19：00
休館日	火曜日、12月29日（火）〜1月1日（金）
観覧料	一般1,300円、大学生・高校生800円、小・中学生500円、未就学児無料
各種割引等	• 団体割引（20名以上の団体）｜一般1,200円、大学生・高校生600円、小・中学生400円 • 障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名｜観覧料の半額 • フリーパス［かおパス］｜一般2,600円、大学生・高校生1,600円、小・中学生1,000円 （本展覧会に限り何度でもご覧になれます。） ※各種割引・フリーパスは重複して適用することはできません。
購入方法	・美術館窓口（窓口では当日券のみ販売します。） ・ART PASS（オンラインチケット） ※販売開始　11月1日（日） ※混雑緩和のため、チケットの事前購入をおすすめしています。

主催	「ヨシタケシンスケ展かもしれない」青森実行委員会（八戸市、青森朝日放送、VISITはちのへ）、朝日新聞社、白泉社
協力	アリス館、KADOKAWA、集英社、PHP研究所、ブロンズ新社、ポプラ社
後援	青森県教育委員会、八戸市教育委員会、デーリー東北新聞社、東奥日報社、道新文化事業社、khb東日本放送、AAB秋田朝日放送、IAT岩手朝日テレビ、八戸テレビ放送、コミュニティラジオ局BeFM

グラフィックデザイン	大島依提亜
会場構成	五十嵐瑠衣



撮影：黒澤義教

ヨシタケ シンスケ
Shinsuke Yoshitake

1973 年神奈川県生まれ。筑波大学大学院芸術研究科総合造形コース修了。2013 年に初の絵本『りんごかもしれない』（ブロンズ新社）を出版。これまで『りんごかもしれない』『もう ぬげない』（ブロンズ新社）『りゆうがあります』『なつみはなんにでもなれる』『おしっこちょっぴりもれたろう』（PHP研究所）『あつかったら ぬげばいい』（白泉社）『あんなに あんなに』（ポプラ社）で7度にわたりMOE 絵本屋さん大賞第1位に輝く。『りんごかもしれない』で、第 61 回産経児童出版文化賞美術賞、『つまんない つまんない』（白泉社）の英語版『The Boring Book』で、2019 年ニューヨーク・タイムズ最優秀絵本賞受賞。

お問い合わせ先

八戸市美術館　031-0031 青森県八戸市大字番町 10-4　TEL｜0178-45-8338（代表番号）　FAX｜0178-24-4531
E-mail｜art@city.hachinohe.aomori.jp　八戸市美術館公式 HP｜https://hachinohe-art-museum.jp
広報担当｜類家　展覧会担当｜三浦、齊藤

みどころ









※写真は世田谷文学館での展示のようすです
撮影：黒澤義教　©Shinsuke Yoshitake



カブリモノシリーズ《ACcess100》
撮影：三橋純　©Shinsuke Yoshitake

発想の源を探るスケッチ約 2,500 枚を大公開

ヨシタケさんが絵本作家デビュー以前から、日々描きためてきたスケッチの数々。小さな手帳の中に、ヨシタケさんの発想の源ともいえる、果てしない妄想やアイデア、そして世界の見方がつまっています。本展では、1 万枚を超える膨大なスケッチの中から約 2,500 枚を複製し一挙に公開。過去最大規模で、ヨシタケさんの「頭のなか」をご覧ください。

絵本の世界を体感できる仕掛けが盛り沢山

デビュー作『りんごかもしれない』（2013年、ブロンズ新社）をはじめ、『つまんない つまんない』（2017年、白泉社）『なつみはなんにでもなれる』（2016年、PHP研究所）など約 30 作の人気絵本から、原画や構想段階のアイデアスケッチなどを多数紹介します。ヨシタケさんのアイデアから生まれた、作品の世界に入り込んだような体験展示もご用意。大人も子どもも体と心を動かして楽しめます。

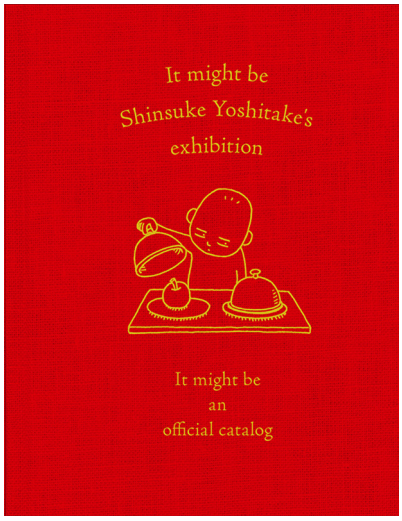
出品数 400 点以上！

ヨシタケシンスケの謎を解き明かそう

絵本を出版する以前から、イラストレーターや造形作家として活躍してきたヨシタケさん。その独自の発想がどこからやってくるのか、学生時代の立体作品や、アトリエに保管されていた貴重な私物コレクションから、インスピレーションの源を探ります。

展覧会オリジナルグッズ

会場にて展覧会オリジナルグッズを販売します。（商品ラインナップ、価格、デザイン、仕様は変更になる場合がございます。）



ヨシタケシンスケ展かもしれない 公式図録
こっちだったかもしれない
©Shinsuke Yoshitake

ヨシタケシンスケ展かもしれない 公式図録

こっちだったかもしれない

展覧会公式図録は、ヨシタケシンスケ自身が描き下ろしたコンテンツを豊富に収録。絵本のためのラフやアイデア、絵本原画をはじめ、展覧会のために描いた未公開スケッチを 1000 点以上収録。さらに、展覧会オリジナルグッズを自ら考案したスケッチは 170 点以上に。展覧会の裏話を含む 5500 字インタビューや、絵本作家デビューから 10 年の軌跡をたどる専門家による絵本論も必読です。

定価 2,970 円（本体2,700円+税）
B6 判変型（W117×H163×D42mm）　496 ページ
アートディレクション／大島依提亜　撮影／加藤新作
発行／白泉社



りんごかもしれない青森りんご

りんごかもしれない青森りんご

青森会場オリジナル！
絵本「りんごかもしれない」のイラストをプリントしたりんごが 青森会場に数量限定で登場！

800 円（税込）
（プリント部分は食用インクを使用しています。デザインは変更になる可能性がございます。）

関連企画

【チケット当たる!】ヨシタケシンスケ展かもしれない開催記念企画
みんなが好きなヨシタケ作品大調査!



みなさんの好きなヨシタケシンスケさんの本を大調査！　投票理由やその作品との思い出・エピソードも添えてご応募ください。ご応募いただいた方の中から抽選で 50 組 100 名様にヨシタケシンスケ展青森会場のチケットをプレゼントいたします。
調査結果は 11 月 30 日(月)放送「ハレのちあした」で発表予定です。ぜひ奮ってご応募ください。(予告なく放送内容が変更になる場合がございます。予めご了承ください。)

応募締め切り｜11 月 10 日(火)
問い合わせ｜青森朝日放送 017-762-1111(平日10:00～18:00)
詳細・応募｜https://www.aba-net.com/event/yoshitaketenn2/

広報用画像


a


b

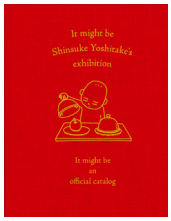

c


d


e


f


g



h


i



j

[**キャプション**]

- a　ヨシタケシンスケ展かもしれない　メインビジュアル　©Shinsuke Yoshitake
- b　撮影：黒澤義教
- c　※写真は世田谷文学館での展示のようすです　撮影：黒澤義教　©Shinsuke Yoshitake
- d　※写真は世田谷文学館での展示のようすです　撮影：黒澤義教　©Shinsuke Yoshitake
- e　※写真は世田谷文学館での展示のようすです　撮影：黒澤義教　©Shinsuke Yoshitake
- f　※写真は世田谷文学館での展示のようすです　撮影：黒澤義教　©Shinsuke Yoshitake
- g　カブリモノシリーズ《ACcess100》　撮影：三橋純　©Shinsuke Yoshitake
- h　ヨシタケシンスケ展かもしれない 公式図録　こっちだったかもしれない　©Shinsuke Yoshitake
- i　りんごかもしれない青森りんご

広報用画像をご希望の方は、【1. 会社名 / 組織名、2. 媒体名・媒体の種類（雑誌、テレビ、webなど）、3. ご担当者名、4. ご連絡先、5. 掲載／放送予定日、6. 画像到着希望日、7. ご希望の写真が掲載されているプレスリリースの発行日、8. ご希望の写真記号】をメール、または FAX に明示の上、下記、お問い合わせ先までご連絡ください。

[**画像の貸出条件**]

• 画像は本企画・美術館の紹介の目的のみにお使いいただけます。• 画像データは第三者へ譲渡せず、使用後すみやかに消去してください。• 画像のトリミングについては事前にご相談ください。　• 作品画像の上に図や文字を重ねることはできません。　• 画像を掲載、放送する際には、指定のクレジット表記を必ずいれてください。• 画像を掲載、放送する前に、ゲラ等掲載案をお送りください。担当者が確認します。　• 新聞紙、雑誌、書籍等の印刷物に画像を使用する際は、八戸市美術館に 1 部ご寄贈ください。

お問い合わせ先

八戸市美術館　031-0031 青森県八戸市大字番町 10-4　TEL｜0178-45-8338（代表番号）　FAX｜0178-24-4531
E-mail｜art@city.hachinohe.aomori.jp　八戸市美術館公式 HP｜https://hachinohe-art-museum.jp
広報担当｜類家　展覧会担当｜三浦、齊藤